

# リスポンシブルマーケティング： 子供への直接的なマーケティングを禁止

我々は製品のリスポンシブルマーケティングに取り組んでおり、ビジネスの実践において、サステナビリティの目標、ビジネス目標、私たちの価値観と一致させてきた歴史があります。

## 基本方針

**1** 子供の飲用に関して、意思決定者である親や保護者の役割を尊重する

我々は、常にポリシーの精神と文言を尊重するよう取り組んでいる。



**2** 最低年齢の基準は13歳とする

TCCCのマーケティングは、いかなる場合でも、13歳未満の子供を直接対象としない。



**3** TCCCのマーケティングは13歳未満の子供を主な訴求対象とすることはできない



マーケティングや広告を展開、コンテンツ制作など、いかなる方法においても13歳未満の子供に訴求をしない。

**4** 媒体接触者のうち13歳未満が30%以上を占める、いかなるチャネルにおいてマーケティングを行わない



## 適用範囲

**5** 本ポリシーはすべてのマーケティングに適用される

具体的には、13歳未満の子供が主な訴求対象である場合、次のいかなる素材も使用しない。



著名人、インフルエンサー、キャラクター。ただし、TCCCが所有しているコカ・コーラ社製品のブランドキャラクター\*は除く。



玩具



ゲーム、オンラインゲーム、コンテスト、イベント



映画・テレビなどのコンテンツとの提携

本ポリシーから適用除外されるTCCCが所有しているコカ・コーラ社製品のブランドキャラクターは、以下のものに限定される：  
コカ・コーラサンタ、TCCCのポーラーベア、中国の旧正月人形、フェアライフの乳牛。ただし、13歳未満を対象とする方法に限って使用することができる。

**6** 本ポリシーは世界規模である

世界各国の文化の違いに関係なく適用される。



**7** 本ポリシーには、適宜、ローカルのガイドラインが含まれる



**8** 本ポリシーは、栄養的側面に関係なく、TCCCのすべての製品とブランドに適用される。



**9** 本ポリシーは、ボトラー、完全子会社、エージェンシーおよびメディアパートナーに適用される



カスタマーや外部のパートナーと協力して、コンプライアンスを確保する。

## 応用

**11** 13歳未満の子供を  
主な対象とするイベントや  
エンターテインメントのイベントの  
ブランドによるスポンサーシップを  
禁止する



**10** 本ポリシーは、以下を含む（ただし、これに限定されない）  
すべての媒体に適用される。



- ・テレビ・映画
- ・印刷
- ・ラジオ
- ・ウェブサイト・アプリ
- ・ソーシャルメディア
- ・携帯電話
- ・動画共有サービス
- ・屋外

**13** 本ポリシーは、TCCCや  
ボトリングパートナーが直接管理する、  
あらゆるPOS素材および製品の  
すべてのパッケージに適用される



**12** いかなるマーケティングでも、  
親や保護者がそばにいない  
状態で、13歳未満の子供を  
使用することはできない



ストーリーの大部分に親や保護者が登場していない場合は、  
13歳未満の子供を取り上げたり、子供のナレーションを使用することはない。  
タレントは13歳以上でなければならない、外見も声も13歳以上でなければいけない。

いかなるマーケティングでも、親や保護者がそばにいるかどうかにかかわらず、5歳未満の子供、または5歳未満に見える子供を取り上げない。

13歳未満の子供が取り上げられる場合は、ストーリーの大部分に  
親や保護者を登場させる必要があり、親か保護者の顔と体が  
最低限見えていなければいけない。

## 学校

**14** TCCCのグローバルスクール  
ビバレッジガイドラインは、  
本ポリシーに含まれている



TCCCは、学校でのマーケティング活動や広告展開を  
許可していない。

小学校\*では、水、100%果汁飲料/スムージー、  
乳飲料、特定の栄養基準に基づく植物由来飲料の販売のみ許可する。  
自販機やクーラーには、選択ボタンを除き、一切ブランディングしない。

中学校/高校で当社の飲料製品を販売する際は、学校当局と協力して、  
飲料製品一式（水、果汁製品およびレギュラー版、低カロリーまたは  
ゼロカロリー版のその他の飲料製品）を用意する。

\*対象は13歳未満の児童が30%以上の全ての学校



## コンプライアンス

**15** 本ポリシーに対する  
コンプライアンスは、  
定期的に精査される



このポリシーの遵守は、真剣に受け止められ、  
事業行動規範に含まれ、定期的に見直されます。  
これには、内部監査人による監査や第三者による  
検証を含みますが、これに限定されません。

法的な制約がある場合や、  
正式に例外が認められる場合を除き、  
TCCCのすべてのポリシーに対する  
コンプライアンスが求められる。